



### 平から平へ 北上の航走 (一)

金華山から松島へ  
短かい夏の旅  
ア キ ラ

空は鉛色にとざされてゐるし、泣き出そうとしてゐるの、何んとなしに氣になつたが、扱て機會をよく處置するより外に方法もないので、軽いさい布に重い心を入れて家を出たのが、二十三日午後六時三十七分發平から上り列車で、小名濱から軍艦北上に便乗するためであつた。

添田社員が先發して、少しばかりの準備をやつてゐてくれる等なので、身体一つで行けるといふ氣安さがあつた。

泉驛から小名濱へ、その途上も、街の中もいそがしそうな人達や、見物人らしい群れと、青年團らしい異装のヘンに氣取つた連中が、ごたごたしてゐるのが、はつきりと軍艦便乗者であること、物語つてゐる。

これも、どの顔にも好奇心がうかんでゐるし、この誰だか知らない顔がみな、嬉しそうにぶらついてゐる。

毎年の今頃ならば都からの避暑客が、心も、身も、かゝるそなたをさる歩き、美しい姿もみられるのだ

が、あかるい灯の下にゐる人の姿には、そんなふうな美しさをもちなかつた。

不景氣の深刻化は、輕井澤の貸別荘さへも、三分の二、空いてゐるといふから小名濱では無理もあるまいと思つた。

新米旅館の前で、自動車をあらしめてもらつて、海岸への道を行くと、そこに錦盛館がある。

夏の宵の海岸街……  
白い顔の女が、灯から照らされてゐる  
へとちら／＼とさせてゐる  
錦盛館へ飛び込んでみる  
と、消防組の宴會だといふので、こつた返してゐる。

座敷もないといふので少しづつ／＼する。

やがて、お湯へ入つてゐると、どや／＼とはいひ込んで来たのが、消防組員らしくまつくろな体の男、殺しても死なないやうな頑強のばかり、無遠慮で、氣のよさそうな連中が三十人あまりゐる。

(續)

### 貸切は

磐城タクシーへ  
電話四五四番

平 驛 前

## 夏服

輕装上衣  
黒セル 4.20ヨリ  
カンミヤ 10.00ヨリ  
◇白上衣 1.60ヨリ  
◇白ズボン 2.60ヨリ

輕快でせう酒な夏服の季節とりました。スマートな今年度の新製が豊富に揃ひました。

平二あかや洋服店 電203

### 御案内

貸切専用のスマート自動車が登場しました。迅速安全をモットーとして低廉奉仕的の料金是非御試乗御用命の程願ひます

野崎自動車商會  
電話は六五九番

### 口腔齒科治療

原齒科醫院  
平町土橋通り  
電話三一一番

### 専門 内科一般

内科ハ何デモ診療致シマス  
呼吸器病バカリデハアリマセン  
平町南町六五

川井内科診療所  
電話七三三番

醫學士 川井重之  
女醫 川井安子

### 時代の尖端藥局現る!!!

一、物々交換相始メ候  
向なり持參して仁丹化粧品ビールナイダー其他と交換下さい  
少ない子供で樂に暮しませう  
産兒制限、月やく止り相談  
衛生試驗開始  
檢便金十五錢檢尿一種金二十錢其他水酒、水、醬油、牛乳等  
平町三丁目郵便局前  
宇佐美藥局  
電話一六六番

### ★開店の爲め★

本日より向ふ十日間安くて耐久力ある鑄造ゴム印  
左記の値段にて下命に應じます

所判 一ヶ 金五十錢より  
仕切判 一ヶ 金六十錢より  
帳簿用 一ヶ 金十錢より  
課目判 一ヶ 金十錢より

ゴム印鑄造及彫刻  
木版彫刻及活版印刷  
名刺はがき活版印刷  
其他 製本

加藤一龍堂  
堂主 宇佐美友二郎  
電話一六六番

### 正確 体温器 寒暖計

関内藥局  
電話四〇番

時節 海水浴場  
大勉 強 錦盛館  
電話四番

引伸復寫フイルム現象市價半額を以て迅速に訂正御引受致します



鈴木寫眞館  
平町才植小路二番地  
千葉辯護士宅隣  
出張撮影に應じます

### 淋病と消渴に

と云ふ最新藥の服用をお勧め致します。胃腸を害さず、きよめの良き事すでに服藥者の言により明かです

水野藥局  
製造發賣元  
四日分金壹圓 八日分金壹圓八十錢  
現代に於ける此の進歩せる療法を一度お試下さい